

経営比較分析表（令和2年度決算）

山口県地方独立行政法人山口県立病院機構 県立総合医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	ド透I未訓ガ	救臨が感へ災地
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	39,511	-	第2種該当	7:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

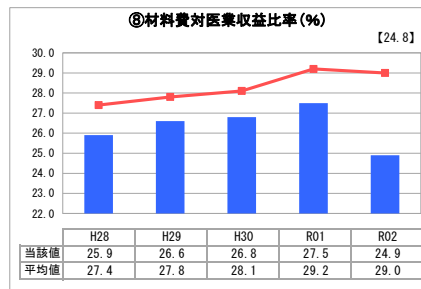
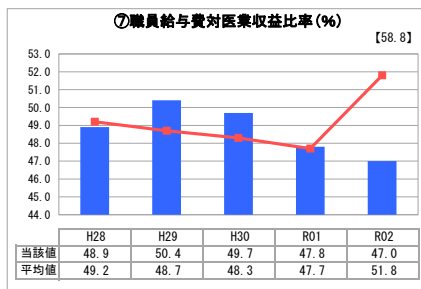
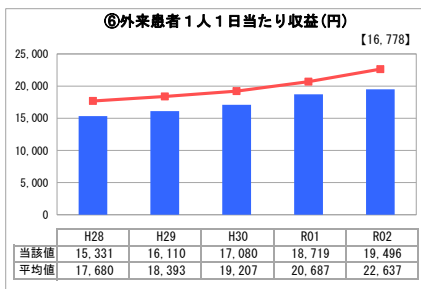
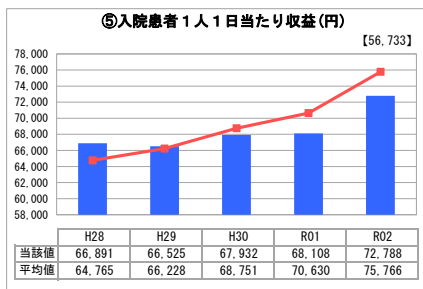
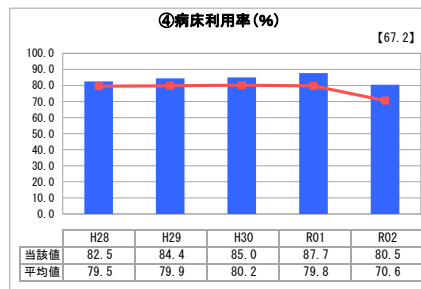
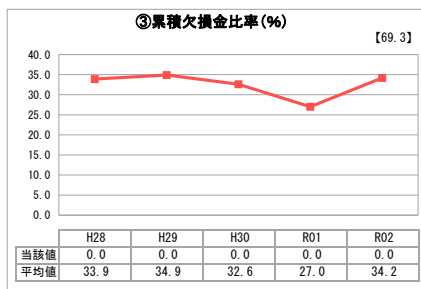
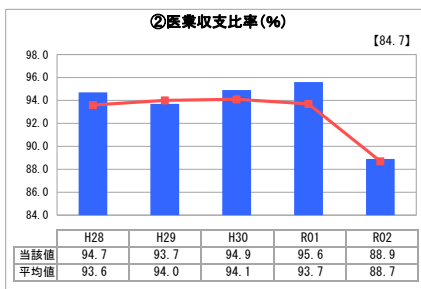
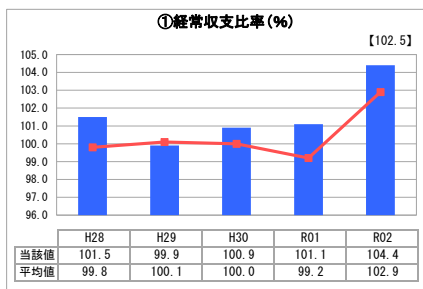
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
490	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	14	504
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
490	-	490

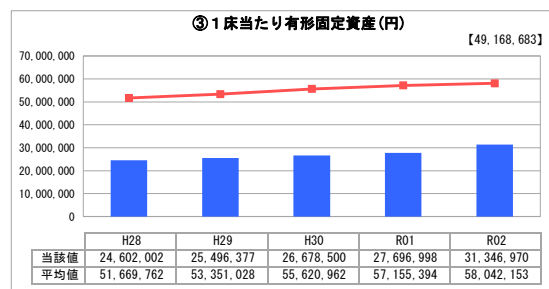
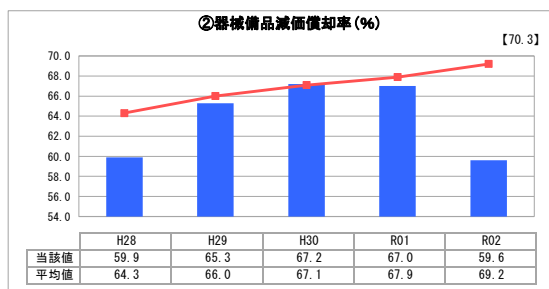
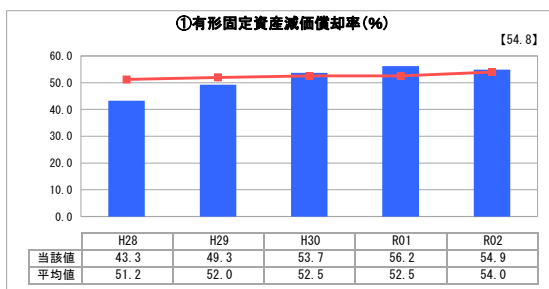
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
-	平成23	-
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

○県民の健康と生命を守るため、県立病院として、救急医療、周産期医療、へき地医療、災害医療、感染症医療など、他の医療機関では対応が困難な医療や不採算医療などに対し、積極的に取り組む。
 ○多くの専門診療科を有する県の基幹病院として、新たな治療への取組を積極的に進め、高度専門医療を充実させるとともに、地域の医療機関等との連携体制も強化し、県民により質の高い医療を継続的に提供する。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○経常収支比率は、概ね100%以上を維持しており、経営の健全性は確保されている。なお、平成30年度以降、3年連続で平均値を上回っている。
 ○医業収支比率は、概ね平均値を上回っている。
 ○病床利用率は、平均値を大きく上回っており、経営の健全性・効率性が確保されている。
 ○入院患者1人1日当たり収益、外来患者1人1日当たり収益ともに、経年的に増加傾向にある。
 ○職員給与費対医業収益比率は平均値を上回る年もあったが、材料費対医業収益比率は平均値を大きく下回っている。今後も、収入の確保、費用の節減・適正化に努める。

2. 老朽化の状況について

○有形固定資産減価償却率は平均値を下回っていたが、平成30年度以降、平均値を上回っている。
 ○器械備品減価償却率及び1床当たり有形固定資産は、概ね平均値を下回っている。引き続き、高度な診断や診療に必要な機器等を、計画的に整備する。

全体総括

○指標の分析からは、これまでのところ、経営は堅調に推移している。
 ○引き続き、第3期中期計画(令和元年度～令和4年度)に基づき、効率的で効果的な業務運営に努める。
 ○施設設備については、施設整備計画や機器整備計画に基づき、計画的な整備に努める。
 ○本県医療の中核的な役割が一層担えるよう機能強化の検討を進める。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。